

2026 年 7 月 29 日
デクセリアルズ株式会社

AI の進化や自動運転を支える次世代ソリューションの創出へ 世界のディスプレイ製品を支える 3 製品が 7 年連続世界シェア No.1

デクセリアルズ株式会社（本社：栃木県下野市、代表取締役社長：新家 由久、以下、当社）は、このたび、株式会社富士キメラ総研（本社：東京都中央区、代表取締役：稲葉 視朗）が 2026 年 7 月に発行した市場調査レポート「2026 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」において、当社が製造・販売する異方性導電膜（ACF）、スパッタリング技術※1 で製造された反射防止フィルム（ARF）、光学弾性樹脂（SVR）の 3 製品が 7 年連続※2 で世界シェア No.1※3 を獲得したことをお知らせします。

当社は、電子部品、接合材料、光学材料などの開発・製造・販売を手掛ける機能性材料メーカーです。2026 年 5 月に発表した中期経営計画のリフレッシュ（アップデート）※4 において、フォトニクス事業（光半導体）の加速を発表し、旺盛な需要に対応するための設備投資などを積極的に進めています。

スマートフォンやノート PC、車載ディスプレイなど世界のデジタルインフラを支える技術として、本 3 製品で収益基盤を強化する一方、当社の 6 つのコア技術※5 を掛け合わせ、AI の普及に伴い成長が期待されるデータセンター、フォトニクス、自動車領域などにおける新たなソリューション創出を加速していきます。

■3 つの世界シェア No.1 技術

異方性導電膜（ACF）：ノート PC、車載ディスプレイなどに使用されるフィルム状の接合材料です。独自技術で導電粒子を意図した位置に配列した「粒子整列型異方性導電膜（ACF）」は、高密度・微細化が進むディスプレイの接続を支え、スマートフォンのフレキシブル OLED ディスプレイにおいてデファクトスタンダードとなっています。現在、高性能デバイスなどの普及に伴い需要拡大が見込まれるなか、鹿沼事業所 第 2 工場（栃木県鹿沼市）に、新エリア（工場）が完成予定です。

反射防止フィルム（ARF）：「スパッタリング技術」を用いてナノレベルで反射防止層の厚みを制御することで、高い反射防止性能を持つフィルムを製造しています。特に、自動車市場ではディスプレイ面積の大型化がトレンドとなっていることに加え、フォールドブルディスプレイ市場の拡大を見据えた製品開発も進めています。

光学弾性樹脂（SVR）：ディスプレイ内部を貼り合わせる液状接着剤で、ディスプレイの視認性を高め、実装においても簡易性を備えた製品です。特に近年は、車載ディスプレイでの需要が拡大しており、本社・栃木事業所（栃木県下野市）にある Automotive Solution Laboratory（AS ラボ）※6 も積極的に活用しながら、世界のお客さまへのソリューション提案を進めています。

デクセリアルズは、これからも、変化する社会・環境において、社会課題の解決を支えるデジタル・テクノロジーの進化に不可欠な高付加価値製品、技術・ソリューションを提供することで、持続可能な社会の実現への貢献と、持続的成長、そして、企業価値向上を目指します。

※1 薄膜形成技術のひとつ。真空環境下でターゲット材にアルゴンガスを吹きつけ、弾き出された原子や分子を対象物に付着させて積層する技術で、半導体の製造などでも活用されている。

※2 2019 年から 2025 年までの 7 年連続。

※3 2025 年の金額シェアベース。

※4 [2024-2028 年度 中期経営計画「進化の実現」リフレッシュ（アップデート）](#)

※5 [当社研究開発の概要 | 研究開発 | デクセリアルズ株式会社](#)

※6 お客さまとの共同開発・技術検証を行う実験施設。実際の工程や材料を用いた評価・試作に加え、オンラインでの遠隔検証にも対応可能。

【参考資料】

■当社製品の市場の占有率と概要

異方性導電膜（ACF）、スパッタリング技術で製造された反射防止フィルム（ARF）、光学弾性樹脂（SVR）各製品の2025年金額ベースの市場占有率は、以下の通りです。

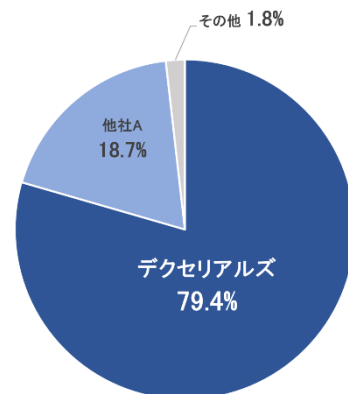
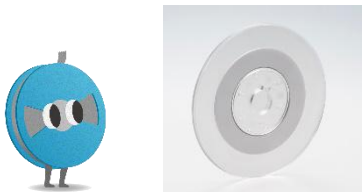
1. 異方性導電膜（ACF）について

ICチップなどの電子部品を基板に実装し、回路を形成する際に欠かせないフィルム状の接合材料です。熱硬化型樹脂の中に導電粒子を分散させており、熱と圧力を加えることで「接着」「導通」「絶縁」の3つの機能を果たし隣接回路間を絶縁しながら対向回路を導通させることが可能です。ディスプレイのICチップのほか、カメラ・センサーモジュールなどの実装にも多く使用されています。

同調査レポート上の市場区分：

ACF（大型向けACF、中小型向けACFの合計）

当社の世界シェア：79.4%



富士キメラ総研「2026 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」

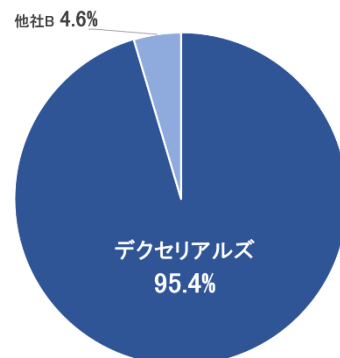
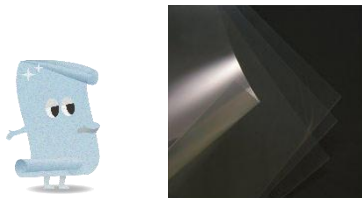
2. スパッタリング技術で製造された反射防止フィルム（ARF）について

ディスプレイの最表面に貼ることで光の反射を抑え、きれいで見やすいディスプレイを実現するフィルムです。スパッタリング技術によって金属酸化膜の反射防止層を形成することで、高い耐久性と優れた反射防止性能を有します。当社では、独自のロール to ロール方式を採用し、ロール状のフィルム製品を効率よく、かつ品質を確保して生産することができる体制を整えています。ノートPCや車載ディスプレイに広く採用されています。

同調査レポート上の市場区分：

表面処理フィルム（ドライコート）

当社の世界シェア：95.4%



富士キメラ総研「2026 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」

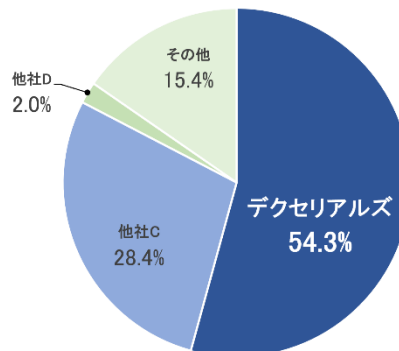
3. 光学弾性樹脂（SVR）について

ディスプレイのトッププレートと、その下にある液晶モジュールなどの間にある空間（エアギャップ）に充填する液状の接着剤です。ガラスに近い光学特性を持つことから、トッププレート界面での外光の反射と内部の映像光の拡散を最小限に抑え、ディスプレイの視認性を向上させることが可能です。スマートフォン、タブレットPC、車載ディスプレイに広く採用されています。

同調査レポート上の市場区分：

OCR

当社の世界シェア：54.3%



富士キメラ総研「2026 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」

<会社概要>

デクセリアルズ株式会社は、電子部品、接合材料、光学材料などの開発・製造・販売を手掛ける機能性材料メーカーです。また、光半導体などフォトニクス製品の開発・製造を手掛けるグループ会社をもち、持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。また、さらなる成長と持続可能な社会の実現に貢献していくための起点として、「Empower Evolution. つなごう、テクノロジーの進化を。」を自社のパーパス（[経営理念と企業ビジョン、パーパス | 会社情報 | デクセリアルズ株式会社 \(dexerials.jp\)](#)）としてかかげています。

会社名：デクセリアルズ株式会社

本社：栃木県下野市下坪山 1724

代表者：代表取締役社長 新家 由久

設立：2012年6月20日

公式ウェブサイト：<https://www.dexerials.jp/>

LinkedIn：<https://www.linkedin.com/company/dexerials-corporation/>

PRキャラクター「デクセリアルズ」について

デクセリアルズがこれまで作り続けてきたのは、ニッチだけれどユニークで技術が詰まった製品たち。そんな技術と製品の個性が、親しみやすいキャラクターになりました。

私たちのニュースや魅力を楽しく・わかりやすく伝える、コミュニケーションの架け橋として活躍しています。

デクセリアルズ

